

庄内自然博物館構想推進協議会

日時：平成 25 年 4 月 18 日（木） 13:30～15:30

会場：鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」

… 次 第 …

1. 開 会

2. 挨拶

3. 自己紹介

4. 報 告

平成 24 年度庄内自然博物館構想推進事業について

5. 協 議

(1) 平成 25 年度庄内自然博物館構想推進事業(案)について

(2) その他

6. 閉 会

庄内自然博物館構想推進協議会 名簿

No	所属団体	所属役職	協議会役職	氏名	出欠	代理者
1	大山自治会	会長	会長	橋本 正輝	○	
2	西郷自治会	会長	副会長	菅原 晃治	×	
3	加茂地区自治振興会	会長		小松 金悦郎	×	
4	湯野浜地区自治会	会長		阿部 喜美男	○	
5	出羽商工会大山支所	代表理事		太田 明雄	×	
6	大山観光協会	会長		齋藤 勝元	×	
7	JA鶴岡	大山支所長		伊藤 正男	×	
8	庄内赤川土地改良区	理事長		渡部 敏美	×	工務部長 阿部 俊
9	西郷土地改良区	理事長		阿部 和夫	○	
10	大山公園再生協議会	副会長		大瀧 喜弘	×	
11	尾浦の里建設整備促進協議会	会長		菅原 寛	×	
12	庄内森林管理署	農林技術指導官		黒川 栄	○	
13	羽黒自然保護官事務所	自然保護官		柘植 規江	○	
14	自然学習交流館	館長		植松 芳平	○	
15	尾浦の自然を守る会	会長	副会長	太田 威	○	
16	出羽三山の自然を守る会	自然教室担当		長南 厚	×	
17	水野野生生物調査室	主宰		水野 重紀	×	
18	庄内自然博物館運営委員会	委員長		平 智	○	
19	庄内自然博物館運営委員会	副委員長		山田 直	○	
20	庄内自然博物館運営委員会	副委員長		林田 光祐	○	
21	庄内総合支庁産業経済部農村計画課	農林技監 (兼)課長		森屋 孝	○	
22	庄内総合支庁産業経済部森林整備課森づくり推進室	室長		後藤 徹	×	
23	鶴岡市企画部	部長		三浦 総一郎	○	
24	鶴岡市農林水産部農山漁村振興課	課長		小笠原 健	×	
25	鶴岡市健康福祉部子育て推進課	次長(兼)課長		渡邊 純	○	
26	鶴岡市商工観光部観光物産課	課長		永壽 祥司	○	
27	鶴岡市市民部環境課	課長		五十嵐 満	○	
28	鶴岡市教育委員会学校教育課	課長		生田 浩樹	○	
顧問	庄内自然博物館(仮称)構想地域推進協議会	前会長	顧問	中浜 裕	×	
事務局	鶴岡市企画部地域振興課	課長		阿部 真一	○	
事務局	鶴岡市企画部地域振興課	主査		伊藤 慶也	○	
事務局	鶴岡市企画部地域振興課	専門員		吉田 修	○	
事務局	鶴岡市企画部地域振興課	学芸員		上山 剛司	○	

平成24年度 庄内自然博物館構想推進協議会経過報告

1. 協議会

期 日：4月13日（金）

会 場：鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」

協議内容：平成24年度事業案、開館記念式及びオープン記念事業について

2. 運営委員会（運営企画会議）

2-1. 第1回運営企画会議

期 日：6月7日（木）

会 場：鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」

報告内容：ほとりあ事業の状況について

協議内容：運営企画会議の持ち方について

2-2. 第1回運営委員会

期 日：7月23日（月）

会 場：鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」

報告内容：今後の運営委員会の持ち方、サポーター、関係機関との調整、
ほとりあ運営状況の報告について

協議内容：どろんこ広場の活用について

2-3. 第2回運営委員会

期 日：10月5日（金）

会 場：鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」

報告内容：ほとりあ運営報告、落雷被害、上池の水質改善、ほとりあ里山マルシェ
について

協議内容：どろんこ広場の活用について

2-4. 第3回運営委員会

期 日：1月23日（水）

会 場：鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」

報告内容：ほとりあ運営報告、専門委員会、映画撮影について

協議内容：どろんこ広場の活用について

2-5. 第4回運営委員会

期 日：3月15日（金）

会 場：鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」

報告内容：ほとりあ運営報告、どろんこ広場の整備について

協議内容：どろんこ広場の活用について

3. 鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」開館記念式及びオープン記念関連事業

期 日：4月23日（月）

会 場：鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」

案内者：61名

記念事業：4月28日～5月5日 自然観察会、記念講演、里山 café 等実施



平成 24 年度 鶴岡市自然学習交流館ほとりあ事業報告

1. 館内利用状況

1-1. 来館者数 (詳細は別紙①参照)

4月から3月までの来館者数をグラフおよび表で下記する。

3月31日現在で来館者数は 27,699 名である。

1日の平均来館者数：90.2 名

平日の平均来館者：73.5 名 土日祝日平均来館者：121.6 名

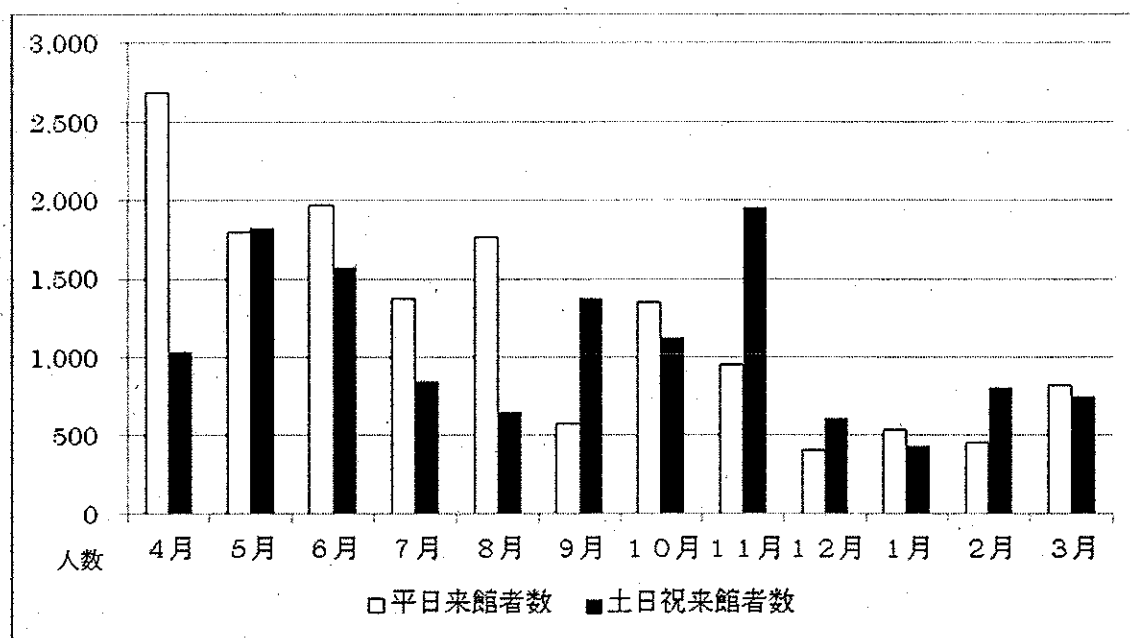


図1 月別ほとりあ来館者データ (平成 24 年 3 月現在)

1-2. 学習交流室利用

4月から3月まで 120 団体、2,713 名

表1. 学習交流室の目的別団体利用状況 (月別)

	見学	視察	学習	研修	会議	その他	合計
4月	2	2				2	6
5月	4		3	1	1		9
6月		3	8	5		2	18
7月	2		3	4	2		11
8月	4			3			7
9月	8	1	4	3	2		18
10月	5	3	2	13	3		26
11月	1	4	1	5		1	12
12月				2			2
1月	1		2				3
2月		1	3	2			6
3月		1	1				2
合計	27	15	27	38	8	5	120

1-3. まったり Cafe

4月30日～3月31日までの合計：61,041円

1-4. ほとりあショップ (3月31日現在)

書籍 20冊、絵葉書 2セット 30,915円

1-5. 太陽光発電

太陽光パネル：15枚設置 (1枚の容量は180W、15枚×180W=2.7kW)

月平均発電量予想：200.1kWh、月平均発電量 (9、10月除く)：197.7kWh

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予想(kWh)	268.2	308.4	267.0	274.9	290.2	222.3	185.7	102.9	77.1	86.4	116.7	200.5	2400.3
実測(kWh)	311.1	306.1	188.1	267.6	367.7	0	0	91	49.6	69.8	95.7	231.2	1977.9

2. 保安全管理

2-1. 湿地保全イベント

実施体制：保全グループ、サポーター、地域振興課、ほとりあ

実施及び参加者総数：年7回実施、149名

月日	時間	イベント名	参加者数 (名)
4月14日	13:00～15:00	都沢湿地の水位確認及び今後の湿地管理方法の検討	18
4月29日	9:00～11:00	ノイバラ駆除活動	18
5月19日	9:00～11:30	ノイバラ駆除活動	14
6月9日	9:00～11:30	親水水路周辺の草刈活動	25
9月8日	9:00～11:30	アメリカセンダングサ、ブタクサ駆除活動	26
10月6日	9:00～11:30	セイタカアワダチソウ駆除活動	20
10月20日	9:00～11:30 14:00～16:00	ヤナギ類樹木伐採 保全活動年間反省会	28

2-2. 外来生物駆除 (詳細は別紙②参照)

実施体制：有償活動 (約150時間)

① ウシガエル捕獲状況

【捕獲日数及びワナ数】

5月24日～11月16日の期間に54日間、855罟を設置し、捕獲を実施。

【捕獲結果】：116個体

② アメリカザリガニ捕獲状況

【捕獲日数及びワナ数】

5月24日～11月16日の期間に54日間、855罟を設置し、捕獲を実施。

【捕獲結果】：6,031 個体（大 4,948、小 1,083）

2-3. 外来植物駆除

実施期間：初夏～秋

実施体制：サポーター（約 20 時間）、研修・教育学習（約 50 時間）

有償活動（約 20 時間）

研修・教育：（鶴岡市企画部有志、慶應義塾大学山形文化論、山形市理科センター、田川地区高等学校理科部会生物専門部、大山小学校）

2-4. 草刈り作業

実施期間：初夏～秋（第 3 期）

実施日数：21 日

作業時間：174.5 時間

実施者：地元農家（指定管理者事業）



2-5. 巡視業務

実施回数：月 2 回程度

巡視回数：19 回（2 月末現在）

実施者：自然に詳しい個人に依頼（有償活動：4 名）

3. イベント事業（詳細は別紙③参照）

3-1. 自然観察会（GWイベント含む）

11 回 191 名

3-2. 自然学習会 里山 Cafe（学習発表会含む）

6 回 178 名

3-3. お茶っこ会

目的：地域連携、地域資源の発掘事業

対象：大山地域住民、サポーター、関係者

実施日：① 2 月 14 日（木）、② 3 月 14 日（木）

参加者：① 6 名、② 7 名

3-4. 里山マルシェ

目的：ほとりあでの取り組みの紹介及び地域連携

実施日：11 月 3 日

参加者：約 500 名

3-5. その他

観月会：9 月 30 日 約 80 名

クリスマスプチコンサート：12 月 23 日 約 200 名

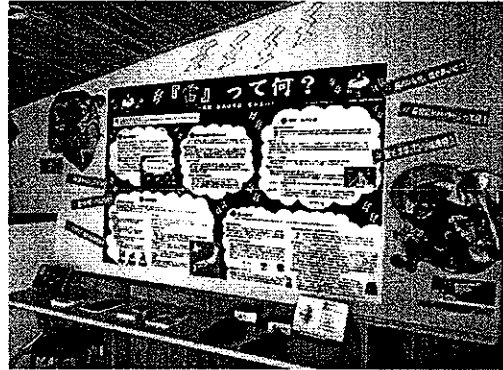
薪ストーブ講習会：2 月 10 日 約 30 名

折り紙ワークショップ：2 月 24 日 約 40 名

4. 展示事業

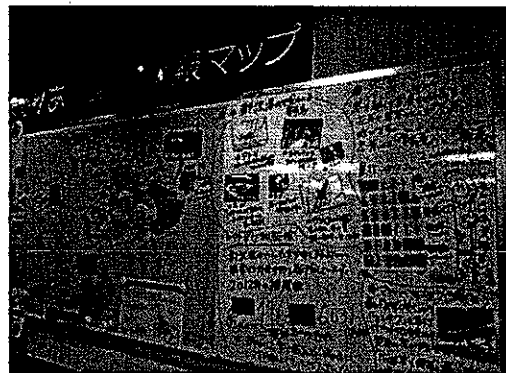
4-1. 館内展示

- 4月…大山の自然いまむかし
- 5月…大山犬まつり、野鳥切手展示
- 夏・秋…夏休み自由研究展
- 冬虫夏草展示
- ヤマネ展
- 冬……雷展示
- 依雪展示
- 渡り鳥展示
- 写真コンテスト



4-2. その他

- 生きもの情報マップ



5. サポーター事業

5-1. サポーター登録数

3月31日現在 127名

5-2. サポーター券発行

3月31日現在 414枚

5-3. サポーター定例会開催

奇数月毎に開催、毎回関係者含め10名程度の参加

5-4. ワーキンググループ活動

- ホタル生息調査
- 歴史文化グループ など

5-5. ほとりあ学習発表会

実施日：3月10日（日）

発表者：大山小学校、加茂水産高校、サポーターを含め個人・団体42名の方が発表

5-6. 里山先進地視察研修

実施日：1月22日（火）

研修先：佐潟水鳥湿地センター（新潟市）

参加者：19名（サポーター、自治会、地域振興課、ほとりあスタッフ）

6. その他

6-1. 地域連携

大山新酒・酒蔵実行委員会に参加

6-2. 調査委託・調査協力事業

山形大学農学部など

別紙①

平成 24 年度 月別来館者データ (4 月 23 日～3 月 31 日)

来館者数 : 27,699 名 (平均 : 90.2 名)

平日来館者数 : 14,690 名 (平均 : 73.5 名)

土日祝日来館者数 : 13,009 名 (平均 : 121.6 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
稼働日数	26	26	26	26	27	26	26	26	23	24	24	27	307
うち平日	23	16	16	16	19	15	17	17	17	14	15	15	200
うち土日祝	3	10	9	10	8	11	9	9	9	9	9	11	107
来館者数	3,725	3,625	3,547	2,225	2,422	1,955	2,475	2,912	1,018	968	1,257	1,570	27,699
うち平日	2,687	1,797	1,970	1,378	1,768	580	1,350	952	404	537	450	817	14,690
うち土日祝	1,038	1,828	1,577	847	654	1,375	1,125	1,960	614	431	807	753	13,009
平均来館者数	143.3	139.4	136.4	85.6	89.7	75.2	95.2	112.0	44.3	40.3	52.4	58.1	90.2
うち平日	116.8	112.3	115.9	86.1	93.1	38.7	79.4	56.0	28.9	35.8	30.0	51.1	73.5
うち土日祝	346.0	182.8	175.2	84.7	81.8	125.0	125.0	217.8	68.2	47.9	89.7	68.5	121.6
1日の最多来館者数	413	305	290	156	166	361	209	1,277	225	99	234	151	1,277
	4.28自然観察 会・ネイチャー ウォーキング	5.26高館山少 年教室・3コミち びっこ広場	6.3自然観察会	7.25親子環境 バス	8.10西新高町 鶴寿会・ロゴ番 査会	9.22秋分の日	10.21この本だ いずきの会	11.3里山マル シェ	12.23クリスマス トップコンサート	1.27第2学区体 協、小さな自然 「昆虫のはな し」	2.9大山新酒酒 蔵まつり	3.10学習発表 会	11.3里山マル シェ

別紙②

【外来種駆除作業】

1. ウシガエル捕獲状況

(1) 捕獲日数及びワナ数

5月24日～11月16日の期間に54日間、855罠を設置し、捕獲を実施。

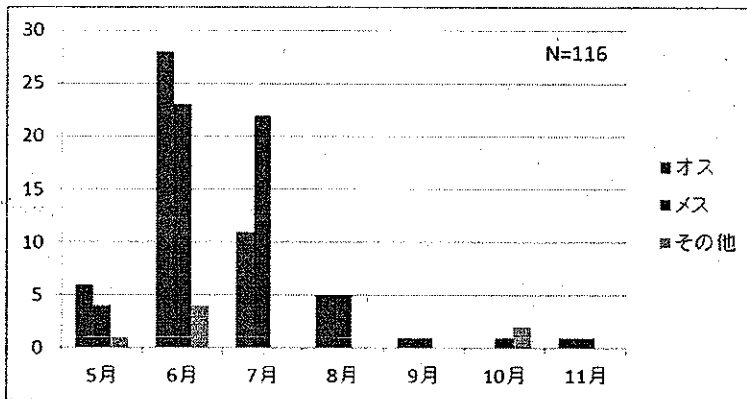
(2) 捕獲結果

・結果、116個体のウシガエルを捕獲

→116個体のうち雌雄判別、サイズ計測が可能な個体は109（オス：55、メス：54）

・年間のCPUEは、0.14 *CPUE（Catch Per Unit Effort：単位捕獲努力量あたりの捕獲数=捕獲頭数÷ワナ数）

(2) - 1 月毎の捕獲数の変移 (N=116)



*月別のCPUEを算出したところ、年間のCPUEを上回ったのは5月(0.31)、6月(0.27)

(2) - 2 ワナ設置場所毎の捕獲数とCPUE (N=116) *設置場所は別紙参照

設置場所	b	c	d	e	f	j
オス	3	15	0	19	13	0
メス	6	15	0	22	13	1
不明	2	3	1	1	0	0
合計捕獲数	11	33	1	42	26	1
ワナ数	222	188	10	293	94	48
CPUE	0.05	0.18	0.10	0.14	0.28	0.02

*ワナ設置場所毎のCPUEを算出したところ、年間のCPUEを上回ったのはc(0.18)、e(0.14)、f(0.28)

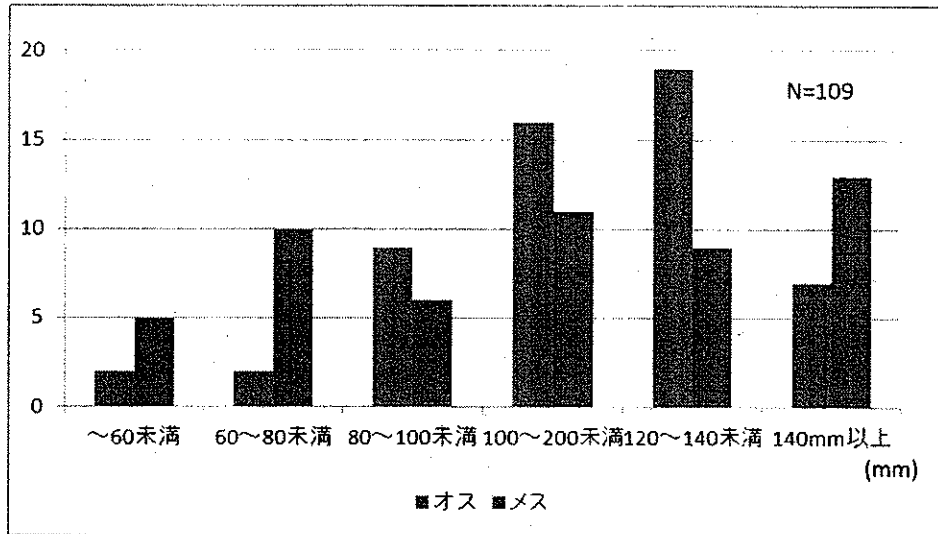
(2) - 3 入水区域毎の捕獲数とCPUE (N=116)

	北側	中央北側	中央南側	南側	その他
オス	0	3	15	32	1
メス	0	6	15	35	2
不明	0	2	4	1	0
合計	0	11	34	68	3
ワナ数	0	222	198	387	48
CPUE	0	0.05	0.17	0.18	0.06

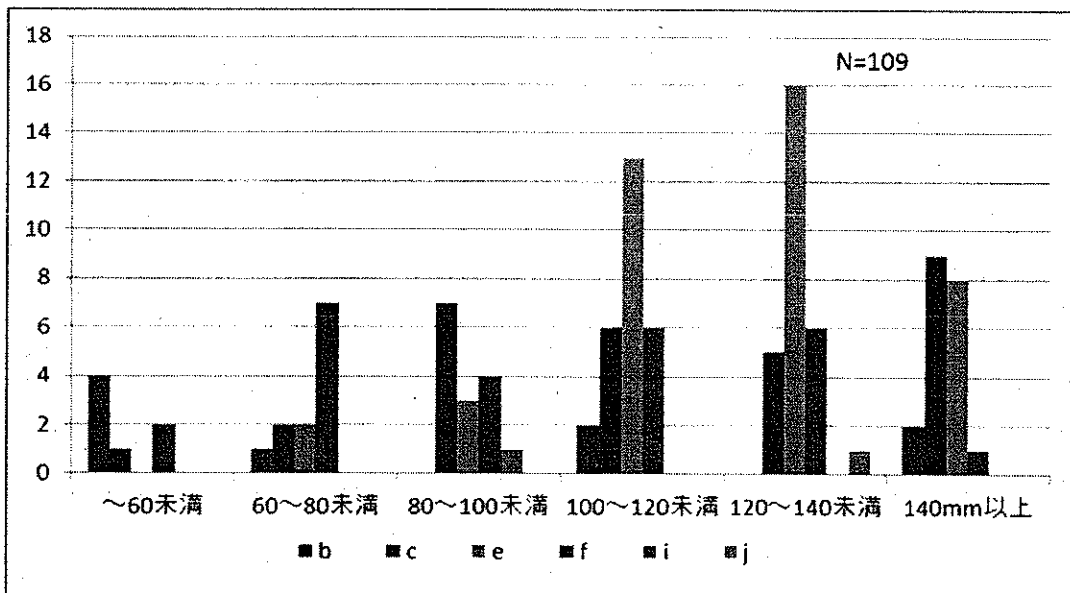
(3) 体サイズ (N=109)

【オス】 最大：37.5mm 最少：162.0mm 平均：111.8mm
 【メス】 最大：45.4mm 最少：166.0mm 平均：113.8mm

(3) - 1 雌雄別体サイズ (N=109)



(3) - 2 ワナ設置場所毎の雌雄別体サイズ (N=109)



2. アメリカザリガニ捕獲状況

(1) 捕獲日数及びワナ数

5月24日～11月16日の期間に54日間、855罟を設置し、捕獲を実施。

(2) 捕獲結果

・結果、6031個体(大4948、小1083)のアメリカザリガニを捕獲
 全体のCPUE=7.05、大=5.79 小=1.21

(2) - 1 月別の捕獲数とCPUE

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
大	201	963	1407	978	511	684	217
小	179	284	203	167	90	148	109
捕獲数	380	1,247	1,610	1,145	601	832	326
ワナ数	36	201	252	165	70	100	31
CPUE	10.56	6.20	6.39	6.94	8.59	8.32	10.52

(2) - 2 ワナ設置場所毎の捕獲数とCPUE

設置場所	b	c	d	e	f	j
大	1,175	942	26	2,642	153	10
小	286	199	10	497	79	12
捕獲数	1,461	1,141	36	3,139	232	22
ワナ数	222	188	10	293	94	48
CPUE	6.58	6.07	3.60	10.71	2.47	0.46

3. その他の捕獲

- ・クイナ(山形県RDB DD種)、10月1日(1個体)、10月11日(2個体)混獲
 *一部擦り傷をおった個体があったが、健康上問題ないと判断し、放鳥
- ・カメ類
 クサガメ20個体
 ミシシippアカミミガメ1個体(大山公園)
- ・その他
 コイ、フナ、ナマズ、タイリクバラタナゴなど

イベント参加状況

月日	イベント区分	イベント名	参加者数 (名)
4月28日	観察会	春のブナの森ハイクトカタクリのいま!	16
5月3日	観察会	オープン記念自然観察会(大山公園)	9
	観察会	オープン記念自然観察会(下池湿地)	8
	講演会	記念講演「庄内自然博物館構想のこれまでとこれから」	31
5月4日	観察会	オープン記念自然観察会(上池高館山)	12
	観察会	オープン記念自然観察会(下池湿地)	12
	講演会	記念講演「森林文化都市・鶴岡 森のじかん、子どものじかん」	21
5月5日	観察会	オープン記念自然観察会(早朝ハイク)	5
	観察会	水辺の生きものみつけ	25
	学習会	里山カフェ①「里山の魅力!」	13
6月3日	観察会	里山まるごとハイクト(上池)	11
	観察会	里山まるごとハイクト(下池湿地)	9
	観察会	里山まるごとハイクト(高館山)	15
8月4日	学習会	自由研究相談会Ⅰ	6
8月11日	学習会	自由研究相談会Ⅱ	5
9月8日	観察会	自然観察会(都沢湿地の外来種駆除)	15
9月16日	観察会	自然観察会(オオヨシキリの巣一斉調査)	15
9月30日	音楽会	自然学習会(観月会inほとりあ)	73
11月3日	その他	ほとりあ里山マルシェ	約500
11月10日	観察会	自然観察会「紅葉の高館山トレッキング」	9
11月23日	学習会	里山カフェ②「灰を通して考える里山文化」	23
12月8日	学習会	里山カフェ③「おらほの渡り鳥」	12
12月23日	音楽会	クリスマスプチコンサート	約200
1月20日	観察会	自然観察会「ガンカモの飛び出し①」	9
1月20日	学習会	里山カフェ④「日本酒と自然」	21
2月10日	学習会	里山カフェ⑤「雷と俵雪の世界・庄内」	39
2月10日	その他	「知って得する♪薪ストーブの活用法」	25
2月14日	その他	お茶っこ会①	6
2月17日	観察会	自然観察会「渡り鳥観察会」	10
2月24日	その他	折り紙で作ろう!自然のいきもの	37
3月9日	観察会	自然観察会「かんじきハイク」	11
3月10日	学習会	ほとりあ学習発表会	70
3月14日	その他	お茶っこ会②	7

合計：約1,300名

平成 24 年度 庄内自然博物館構想推進事業 決算

(単位：千円)

項 目	当初予算額	支 出 額	予 算 残 額	摘 要
報償費	1,435	1,348	87	講師謝礼 協力スタッフ謝礼 サポーター特典
旅費	223	92	131	視察研修他
消耗品費	950	1,050	▲100	保全管理消耗品 自然環境学習消耗品 里山利活用消耗品
食料費	180	206	▲26	サポーター飲み物 湿地の恵み料理 試作費
印刷製本費	200	90	110	チラシ・広報等 印刷
保険料	162	49	113	サポーター等保 険料
委託費	800	783	17	重機による攪乱 作業 調査費
合 計	3,950	3,618	332	

※ 上記の予算額は、市の直接経費及び指定管理の経費のうち、専任スタッフの賃金や光熱水費等の経常経費を除いたものである。

庄内自然博物館構想推進のフロー図(案)

■ 組織

(1) 庄内自然博物館構想推進協議会

(2) 専門委員会 (年1~2回)

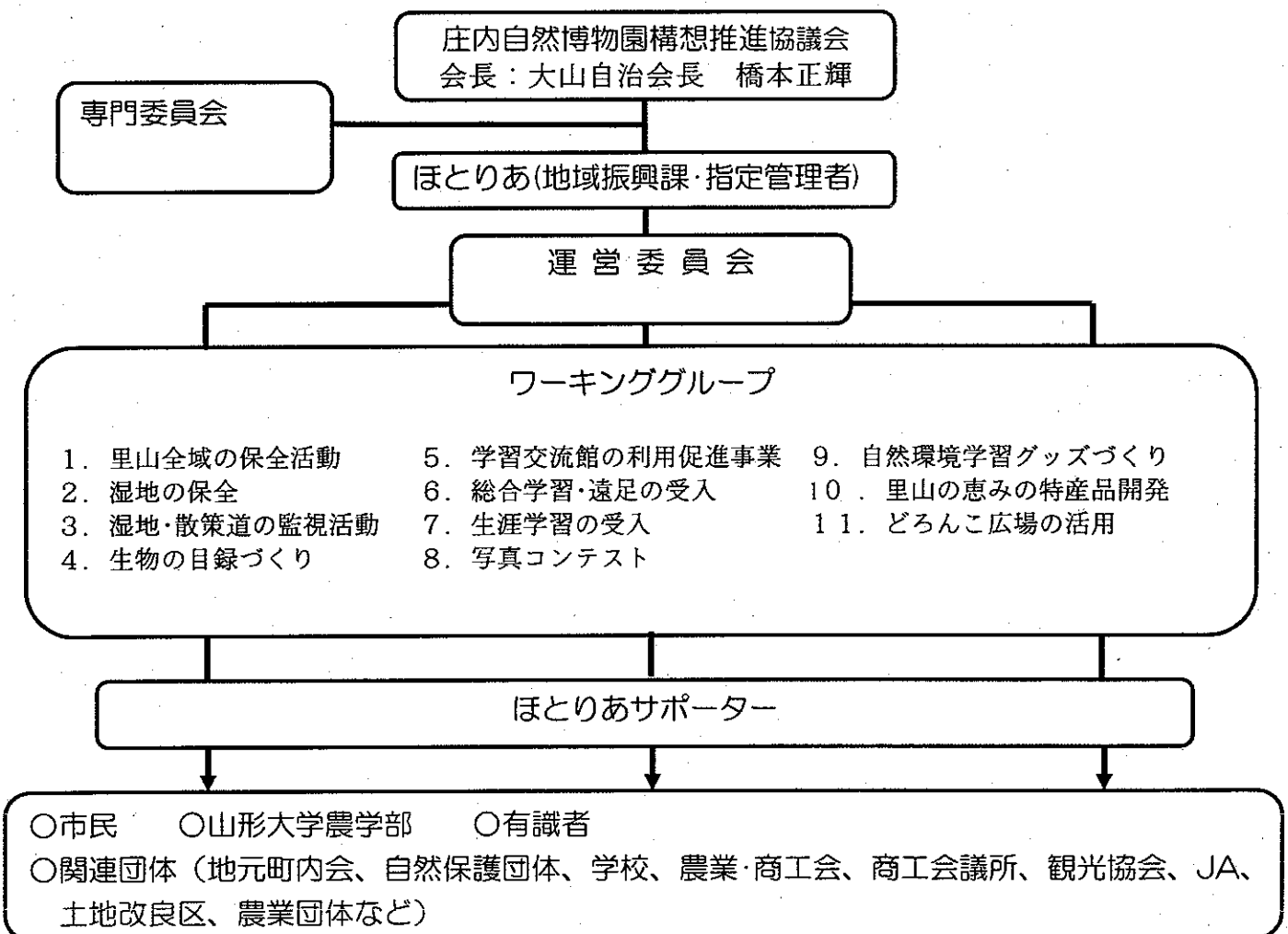
- ・ 事業を専門的な視点から検証し、必要があれば改善のアドバイスをする。
- ・ 構想の中長期的な計画を策定する。
- ・ 構想エリアにおける自然再生事業について調査検討する。
- ・ 専門委員は8名程度。

(3) 運営委員会 (年3~4回)

- ・ 構想及び中長期の計画を受けて、年次の運営計画(活動計画)を策定する。
- ・ 各事業・イベントの企画・実施は、それぞれのワーキンググループを基本とし、全体的な調整及び情報の共有を図る。
- ・ 運営委員は約12名程度(2013年度より公募委員などを検討)

(4) ワーキンググループ(班)

- ・ 運営委員は、各ワーキンググループのリーダー役を担う。
- ・ 事業実施に必要な関係機関との調整事項は、各ワーキンググループごとに調整する。
- ・ 各ワーキンググループは、事務局及び他のグループとの連絡を密にする。
- ・ サポーター及び市民が参画しやすい仕組みを構築する。



平成 25 年度 鶴岡市自然学習交流館ほとりあ事業計画 (案)

1. 保全管理事業

- 1-1. 外来生物駆除 (ウシガエル、アメリカザリガニ)
実施期間：5月～10月
実施場所：都沢湿地、下池周辺も検討
体制：有償活動 (約 180 時間)
- 1-2. 外来植物駆除 (セイタカアワダチソウ、ブタクサ、アメリカセンダングサなど)
実施期間：5月～10月
実施場所：都沢湿地、下池堤体 (西郷土地改良区管理場所も検討)
体制：サポーター、地域、企業活動など (*活動状況を見ながら有償活動も検討)
- 1-3. 草刈り作業
実施期間：年 3 回 (6, 7, 9 月)
実施場所：都沢湿地
体制：有償活動 (昨年度は約 170 時間)
- 1-4. 湿地保全管理イベント事業
実施数：年 6 回 (昨年度は 7 回)
体制：ワーキンググループ (保全計画)
参加条件：原則サポーター、関係機関や地域住民の参加協力もお願いしたい。
- 1-5. 巡視事業
実施期間：4月～3月 (月 2 回程度)
実施場所：都沢湿地
体制：自然に詳しい個人に依頼 (有償活動)

2. 自然学習事業

- 2-1. 自然観察会
実施数：年 15 回
体制：講師：7 回、スタッフ&サポーター：8 回
- 2-2. 自然学習会 里山 Cafe
実施数：年 10 回
体制：講師：10 回
- 2-3. 里地里山学講座
実施数：年 5 回
体制：講師：5 回
- 2-4. いのち学
実施数：年 2 回
体制：サポーター、講師 1 名
内容：外来生物駆除活動、その活用 (食) を通して、命について考える。

2-5. 学習発表会

子ども対象：2014年2月23日（日）

成人対象：2014年3月9日（日）

2-6. 泥んこ広場活用事業（別紙④参照）

目的：活用目的毎に3つに分けた地域での事業促進

体制：ブロック毎に担当者を決める。

2-7. ワークショップ事業

目的：身近な自然環境への興味関心を高める若年層向け、親子向けWS

実施数：年10回

体制：サポーター

参加条件：申込みなし、参加費なし

2-8. 年報制作

毎年、翌年5～6月に発行

3. 里山活用事業

3-1. 薪作業

実施期間：4月～10月

体制：スタッフ及び有償活動（昨年度はサポーター活動）

3-2. 里山マルシェ

実施期間：年1回（開催日：11月3日）

体制：ワーキンググループ

3-3. クラフト事業

体制：ワーキンググループ

内容：ヨシやススキなど大型草本の利用

ヒシやハスなどの活用

3-4. 里山の恵事業

体制：ワーキンググループ

内容：ヒシやハスなどの活用

まったり Café や里山 Café でのお茶やお菓子の開発

4. 1周年記念事業

ほとりあも4月で開館1周年を迎えることから記念事業を企画実施したい。対象事業として、里山マルシェやいのち学のイベント、5月連休や夏休みの開催する事業を1周年事業としたい。それに合わせて、本構想及び拠点施設であるほとりあをPRするグッズの開発も検討したい。

5. 調査研究

5-1. 都沢湿地植生調査

委託：山形大学農学部 林田 光祐 教授

5-2. 大山上池・下池水質調査

委託：山形大学農学部 梶原 晶彦 助教

5-3. 未利用資源（ヨシ）の生育および成分に関する研究

自主：山形大学農学部 作物生産学研究室（藤井教授、森准教授）

5-4. サポーター調査活動

- ・歴史文化（ムジナ供養塔など）
- ・ホタルの生息やギフチョウの産卵調査
- ・自動撮影装置による野生生物調査

6. 地域連携事業

6-1. 大山地域まつり連携事業

大山公園さくらまつり、大山犬まつり、大山新酒酒蔵まつりとの連携

6-2. お茶っこ会

対 象：大山地区住民及びサポーター、関係者

回 数：年6回（隔月開催、昨年度は2、3月に開催）

7. 連携事業

7-1. 森林文化都市関連施設連携事業

鶴岡市域にある自然学習施設との連携事業を検討する

8. 普及啓発物作成

8-1. 都沢湿地マップの作成

都沢湿地の保全計画及び四季の生きもの紹介

8-2. その他

缶バッジやクリアファイルなどPRするグッズの開発

泥んこ広場の整備及び活用

別紙④

【整備基本案】

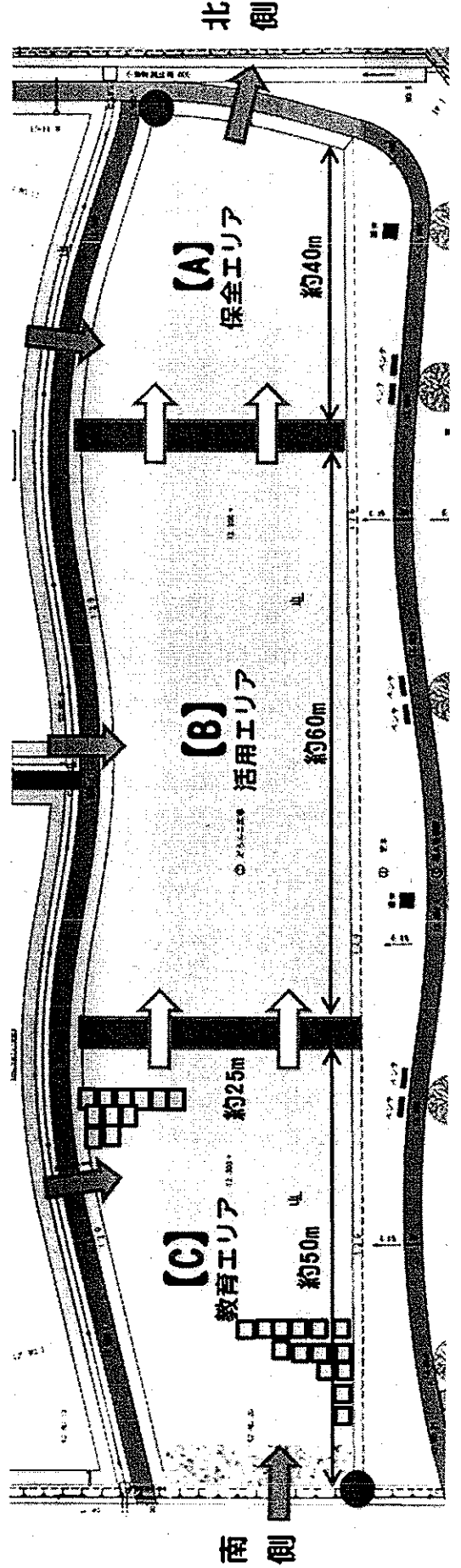
- ・従来の泥んこ広場の管理では、夏季には草が伸び放題な状態となり、湿地内に自由に出入ることが出来ない。そこで、市民が湿地環境に親しむことができるように活用目的毎に区分けして活用することとする。

【泥んこ広場整理方針】

- ・区分けは【A】湿地保全、【B】湿地の恵み活用、【C】湿地の環境教育の3つとする。
- ・【A】湿地保全は、希少動植物の保全(クローズ)
- ・【B】湿地の恵み活用は、ハスの植栽及びその活用(クローズ&オープン)
- ・【C】湿地の環境教育は、子どもが湿地と親しむ空間及び農業体験(もち米栽培)(オープン)
- ・区分けの面積については、関係者と協議の上決定する。

【泥んこ広場整備スケジュール】

- ・2012年の年度内中に整備を終わらせる。工事発注はこれまでに都沢湿地整備に係った業者をお願いする予定
- ・利用目的毎に区分するために、地域を区分する2本の畔を整備
- ・畔の幅は、畔が崩れず、親子も通れる幅である120～150cmとする。
- ・2つの畔には2か所ずつの排水溝(白色矢印)を設置する。
- ・【B】、【C】には、利用目的に合わせて、各2本の木道(幅80cm)を設置。●にどろんこ広場の看板。【C】の灰色ゾーンには砂を敷く
- ・維持管理(特に水管理)については、鶴岡市自然学習交流館ほとりあを中心にして維持管理していく。
- ・事業実施者がいる場合は、ほとりあと協働して維持管理に努めていく。
- ・特に【A】に関しては計画、管理について専門家と協議する。



平成 25 年度 庄内自然博物館構想推進事業 予算

(単位：千円)

項 目	予 算 額	摘 要
報償費	1,018	講師謝礼 協力スタッフ謝礼 サポーター特典
旅費	265	講師旅費、視察研修他
消耗品費	950	自然環境学習消耗品 里山利活用消耗品
食料費	180	湿地の恵み料理試作費 サポーターへの飲料
印刷製本費	100	チラシ・広報等印刷
保険料	92	サポーター、草刈作業等保険料
委託費	800	重機による攪乱作業、調査委託
合 計	3,405	

※上記の予算額は、市の直接経費及び指定管理の経費のうち、専任スタッフの賃金や光熱水費、清掃業務委託等の経常経費を除いたものである。

※今年度も庄内広域行政組合より「自然環境学習促進事業」128 万円の交付が継続しており、庄内自然博物館構想ソフト事業へ連携・協力していく。

庄内自然博物館構想推進協議会設置要綱

(名称)

第1条 この会は、庄内自然博物館構想推進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 協議会は、庄内自然博物館構想を推進する区域において、庄内自然博物館構想の理念のもとに市民の主体的参画と協働による自然環境の保全と、自然と触れ合う自然環境学習などの事業を行い、人と自然の共生に資することを目的とする。

(設置)

第3条 前条の目的を達成するため、協議会を設置する。

(所掌事項)

第4条 協議会は、第2条の目的を達成するために、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 自然を体験し、親しみ、学習する講習会、研修会等の企画及び実施
- (2) 湿地、森林、生物多様性の保全
- (3) 前2項に関わる指導者の養成
- (4) その他必要な事項

(組織)

第5条 協議会は、第2条の目的に賛同する市民、学識経験者、団体代表者等の委員で構成する。

2 協議会には、委員の互選により、会長1名、副会長2名を置く。

3 会長は、会議の座長となる。ただし、会長に事故あるときは、副会長がその職務を代行する。

(会議)

第6条 会議は、必要に応じて会長が招集し開催する。

2 会議は原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な事業運営に支障が生じると認められる場合は、非公開で行うものとする。

(意見の聴取)

第7条 協議会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(専門委員会及び運営委員会)

第8条 協議会に専門委員会及び運営委員会を置く。

2 専門委員会及び運営委員会の構成、所掌事項及びその他必要な事項は別に定める。

(事務局)

第9条 協議会に事務局を置き、鶴岡市企画部地域振興課がこれを担当する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会に関して必要な事項は、会長が別に定める。

附則

この要綱は、平成23年7月11日から施行する。

この要綱は、平成24年6月7日から施行する。